




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



2 609 141 168

2 609 141 168 (14.02)

マルチ探知機 GMD120



取扱説明書

このたびは、弊社マルチ探知機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
させていただきます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー工具全般についての注意事項	2
マルチ探知機についての注意事項	9
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	11
●本製品について	
用途	12
各部の名称	12
仕様	14
標準付属品	15
使用可能バッテリー・充電器	15
●使い方	
バッテリーを準備する	16
作業前の準備をする	19
作業する	20
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	27
修理を依頼するときは	28
●お手入れと保管	
クリーニング	29
保管	29

ご安全上
の注意

のリサイ
クル

つ本製
品に

使
い
方




困
った
とき
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたマルチ探知機には、当てはまらない項目も含まれています。

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

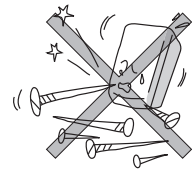


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警告

1. 正しく充電してください。

- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

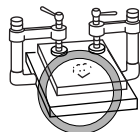
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして棄てないでください。

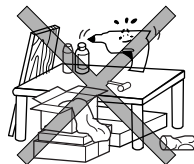
棄てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業者以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

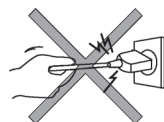


7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

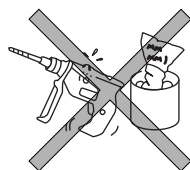
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。



14. バッテリー工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

マルチ探知機についての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、マルチ探知機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご
使
用
上
の
注
意



警 告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、マルチ探知機本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. 正確な探知を行うために、センサー探知部にステッカーを貼ったり、金属製のネームプレートを取り付けたりしないでください。
3. 使用前には、必ず本体を点検してください。
 - ◆ 損傷が見られる場合や外れた部品などがあると、正確な探知結果が得られないことがあります。
4. 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
5. 直射日光が当たったり、車中など高温になるところには置かないでください。
6. 液漏れによる腐食から守るため、長時間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。
7. 本機の持ち運びおよび保管には、付属のキャリングバッグを使用してください。

8. 効率のよい安定した作業が行えるよう、本機を乾燥した、きれいな状態に保ってください。
9. 本機を水中やその他の液体中に入れしないでください。
10. 爆発の危険性がある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。
11. 本機は完全な安全性を保証できません。壁、天井および床に穴あけ、切断などの作業を行う場合には、事前に設計図や工事中の写真など、他の情報源で必ず確認を行ってください。
 - ◆ 湿気や他の電気装置との距離などの周囲環境によっては、本機の精度が損なわれることがあります。壁の施工状態（水気、金属含有建材、通電性壁紙、断熱材、タイルなど）や対象物の数、種類、大きさ、場所などが測定結果に影響を及ぼすことがあります。
12. センサー探知部が汚れていると、探知表面を検知しないことがあります。汚れているときは、乾燥した柔らかい布でセンサー探知部をきれいに拭いてください。
13. 本機をご自分で分解しないでください。
14. 使用環境の温度や湿度が急激に大きく変化すると、探知精度および探知能力が低くなる場合があります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

リサイクルのために

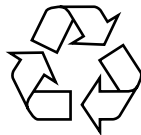
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
め

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用途

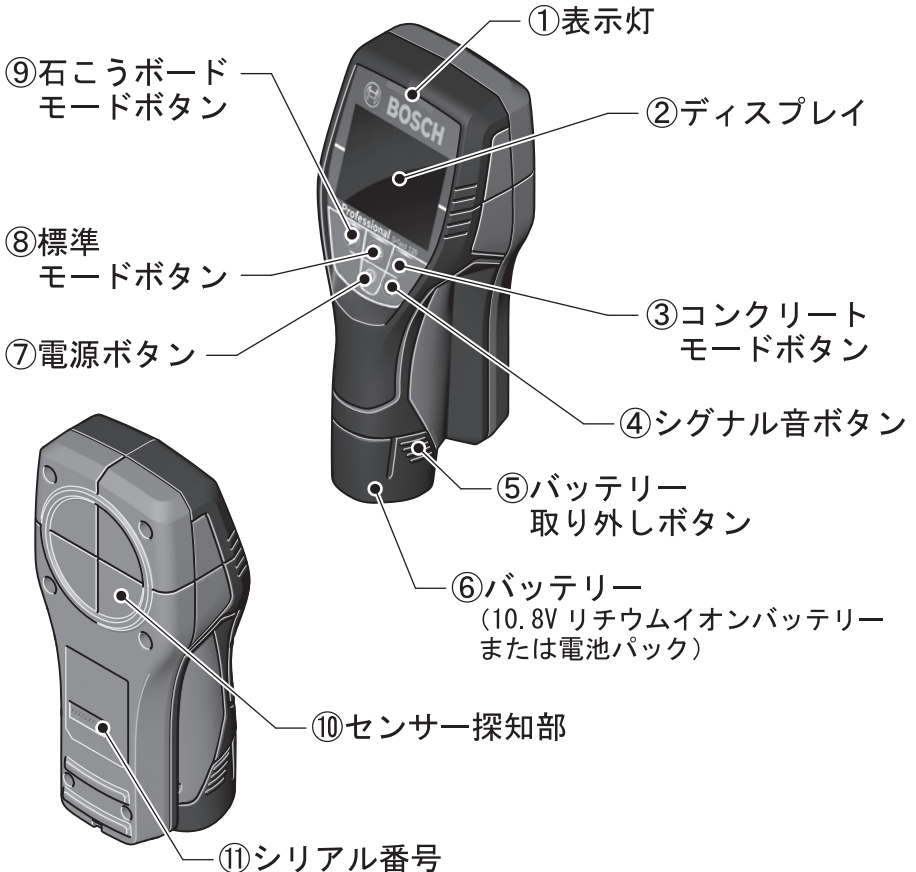
◆ 壁や天井、床などに埋没された、金属、木材、プラスチックパイプ、通電線、ケーブルの探知

※ プラスチックパイプの探知は、内部の空気層および配線等の金属、または水を探知対象とします。

内部が空洞の場合は探知できない可能性があります。

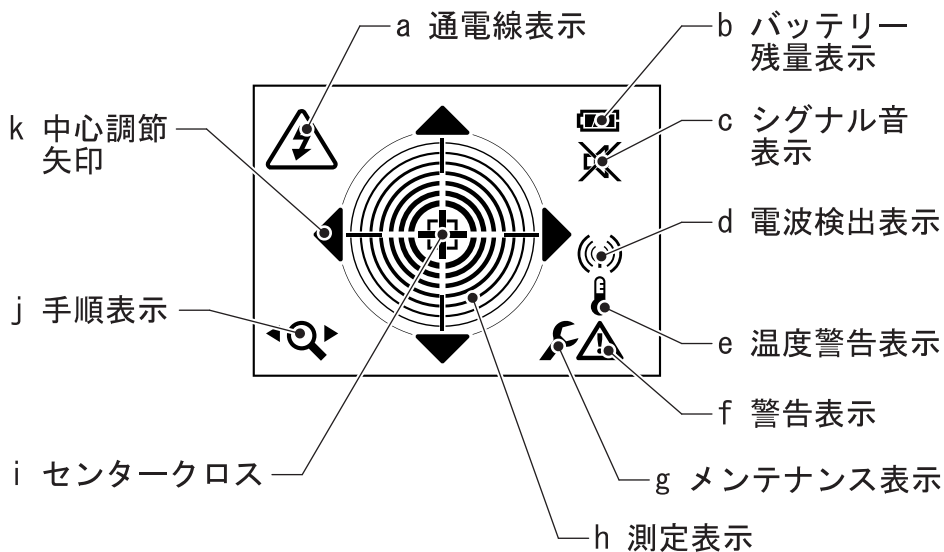
各部の名称

本体



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

型 番	GMD120
最大探知深さ*	
コンクリートモード	
金属	120 mm
電線・水が充てんされている プラスチックパイプ	60 mm
標準モード	60 mm
石こうボードモード	60 mm
探知対象物の中心における探知精度	±10 mm
対象物の最小探知可能間隔	50 mm
自動電源オフ	約 5 分
使用温度範囲	-10℃～+40℃
使用可能湿度範囲	10%～90%
通電線探知可能最大湿度	50%
保管温度範囲	-20℃～+70℃
使用バッテリー	10.8V リチウムイオンバッテリー または 単 3 形アルカリ乾電池 4 本
連続使用時間	約 5 時間
質 量	0.5 kg (EPTA-Procedure 01/2003 準拠)

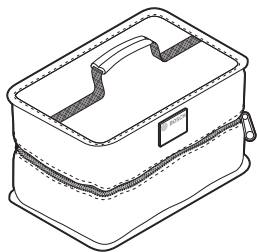
- * 探知深さは、探知物体の材質および大きさ、対象面の材質および状態により異なります。
通電中でない電線は、探知深さが浅く表示されることがあります。

リチウムイオンバッテリー

電 圧	10.8 V
容 量	1.3 Ah

☞ 測定結果の精度は、壁や天井、床の施工状態の影響を受けることもあります。

標準付属品



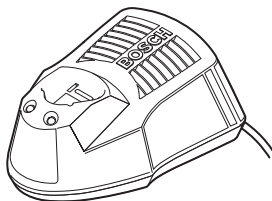
キャリングバッグ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使用可能バッテリー・充電器



リチウムイオンバッテリー
10.8V



専用充電器

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

つ本
製
い
品
て
に

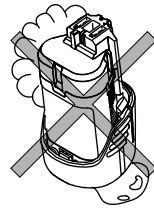
使い方

バッテリーを準備する

リチウムイオンバッテリーを使用する

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消費していないか？



バッテリーを充電する

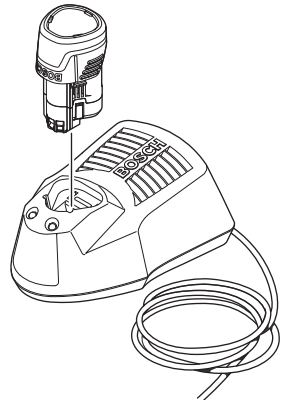
充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリーを充電してください。
- ◆ バッテリーが熱くなっているときは、冷えてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリーを差し込みます。
充電が始まります。



3. 充電が終わったら、バッテリーを充電器から抜きます。

4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

☞ 新品のバッテリーや長期間使用していなかったバッテリーは、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。

☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリーの寿命が尽きたと考えられます。

新しいバッテリーと交換してください。

☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

● 電池パックを使用する



警告

◆ 単3アルカリ乾電池を使用してください。

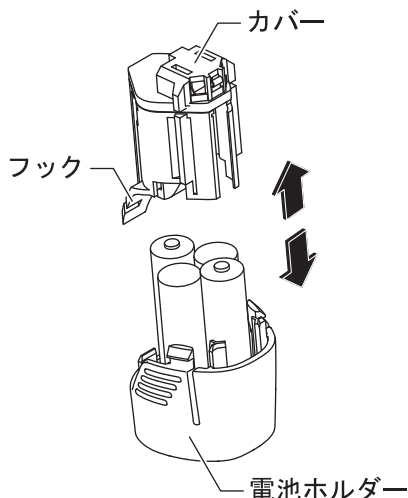
1. カバーのフックを引き上げて保持し、カバーを取り外します。

2. ホルダーの表示に従い、電池の向きに注意して電池をセットします。

☞ 電池を交換するときは、常に新しい電池を4本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を混在して使用しないでください。

3. ホルダーにカバーを取り付けます。

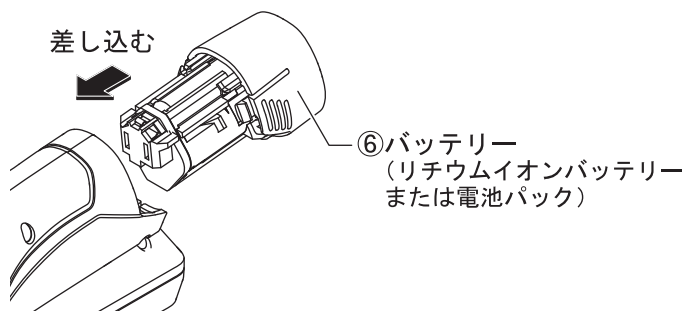
☞ カバーが確実に取り付けられ、外れないことを確認してください。



● リチウムイオンバッテリーまたは電池パック⑥を取り付ける・取り外す

取り付け

リチウムイオンバッテリーまたは電池パック⑥を、マルチ探知機本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



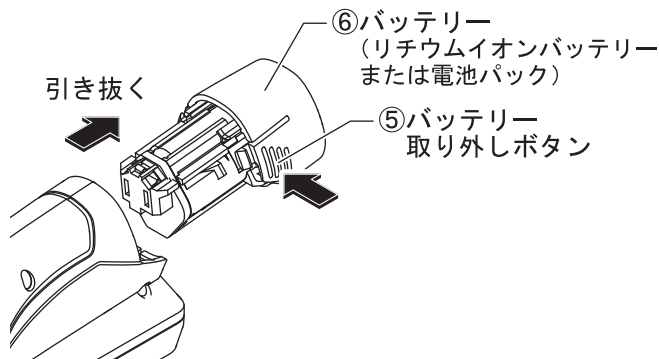
使
い
方


- 注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

- 注意** ◆ リチウムイオンバッテリーまたは電池パック⑥を引き出す際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン⑤」を押しながらリチウムイオンバッテリーまたは電池パック⑥をマルチ探知機本体から引き出します。



 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。長期間、電池を入れたまま使用しないと、電池が腐食、放電することがあります。


● シグナル音を設定する


電源が“入”のとき「シグナル音ボタン④」を押すと、シグナル音の“入”“切”が選択できます。

押すたびに、“入”“切”が切り替わります。

シグナル音の“入”“切”状態は、ディスプレイの“シグナル音表示 (c)”で確認できます。

(電源の“入/切”は、21 ページを参照してください)

 : シグナル音が鳴ります。

 : シグナル音が鳴りません。


- ☞ 本体が損傷していたり、緩んだ部品があったりすると、正確な探知結果が得られないことがあります。
- ☞ 正確な探知を行うために、センサー探知部⑩にステッカーを貼ったり、金属製のネームプレートを取り付けたりしないでください。
- ☞ 極度に温度の高いまたは低い環境下、または極度に温度変化のある場所で本機を使用しないでください。周囲温度が急激に変化した場合、本機を周囲温度に順応させてからスイッチを入れてください。
極度に高いまたは低い温度、または極度な温度変化が生じると、本機の精度が低下したり、ディスプレイ表示が悪化したりすることがあります。
- ☞ WLAN、UMTS、飛行レーダー、電波塔やマイクロ波などの送信設備の付近で本機を使用すると、測定機能に影響が生じることがあります。
- ☞ 本機は完全な安全性を保証できません。壁、天井および床に穴あけ、切断などの作業を行う場合には、事前に設計図や工事中の写真など、他の情報源で必ず確認を行ってください。
湿気や他の電気装置との距離などの周囲環境によっては、本機の精度が損なわれることがあります。壁の施工状態（水気、金属含有建材、通電性壁紙、断熱材、タイルなど）や対象物の数、種類、大きさ、場所などが探知結果に影響を及ぼすことがあります。
- ☞ 電源を入れる前に、センサー探知部⑩が湿っていないか確認してください。必要に応じて、本機を乾いた布で拭いてください。
- ☞ 静電気が生じていると、探知結果に影響を及ぼすことがあります。空いた手を対象面などにあてて静電気を除去してください。
- ☞ 直射日光が当たったり、湿度の高い所に長時間本機を置かないでください。
- ☞ 空中で探知機を持っているにもかかわらず、対象物を探知した表示が表示されたり、表示灯①が点灯したりする場合は、探知機本体が損傷しているか、周囲の電波の影響を受けている可能性があります。


1 電源を入れる


「電源ボタン⑦」を押すと、電源の“入”“切”ができます。


入：「電源ボタン⑦」を押します。


切：「電源ボタン⑦」を押します。


 約5分間にわたって、ボタン操作を行わなかったり、探知しなかった場合、電池消費を防ぐため、電源が自動的に切れます。


 ディスプレイ②のバッテリー残量表示（b）で電池の残量を確認し、残量が少なくなっているときは、早めにリチウムイオンバッテリーまたは電池パックを交換してください。

 リチウムイオンバッテリーまたは電池パックの残量は、バッテリー残量表示（b）の表示で確認することができます。

 残量が十分残っています

 残量が容量の2/3またはそれ以下

 残量が容量の1/3またはそれ以下

 電池を交換してください

本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。

本体が過負荷になった場合やリチウムイオンバッテリーまたは電池パックが過放電または高温になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が停止している状態で「電源ボタン⑦」を押し続けると、故障の原因になります。

2 探知モードを選ぶ

探知モードを適切に選択すると、測定結果が向上します。

探知モードは、「コンクリートモードボタン③」「標準モードボタン⑧」「石こうボードモードボタン⑨」で選択でき、選択されたモードのボタンが点灯します。

コンクリートモード（最大探知深さ 12cm）

コンクリートの中の対象物を探知します。

鉄筋、金属パイプ、水で満たされたプラスチック管、通電線、ケーブルなどが探知できます。

標準モード（最大探知深さ 6cm）

ほとんどの探知対称面の対象物を探知します。

木、金属パイプ、プラスチック管、通電線、ケーブルなどが探知できます。ブロック・レンガ壁内部の空洞や、内径 2cm 以下の空洞なプラスチック管は、探知できない場合があります。

石こうボードモード（最大探知深さ 6cm）

石こうボードの中の対象物を探知します。

木材、金属パイプ、プラスチック管、通電線、ケーブル、水で満たされたプラスチック管などが探知できます。

空洞なプラスチック管は、探知できません。

3 探知する

本機はセンサー探知部⑩の下にある対象物を探知します。

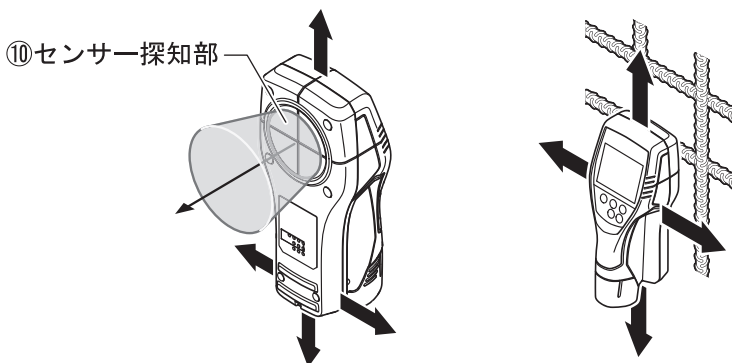
☞ 静電気が生じていると、探知結果に影響を及ぼすことがあります。空いた手を対象面などにあてて静電気を除去してください。

1. 本機を探知したい対象面に当てます。

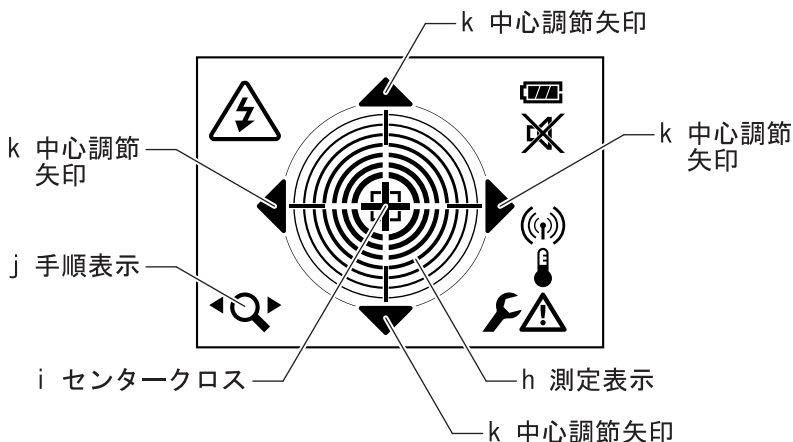
☞ センサー探知部⑩が、対象面に常時接触しているようにしてください。

2. 一方向に、真っすぐ、本体を一定の力で動かします。

☞ 正確に探知するには、3回位往復移動させてください。



3. 対象物の位置を特定する。



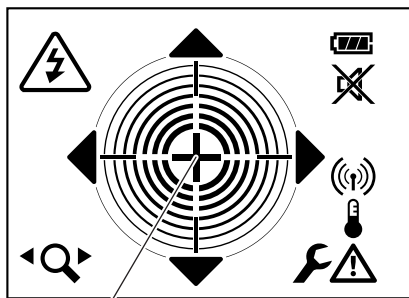
対象物がセンサー探知部⑩に近づくと、手順表示（j）が表示され、表示灯①が黄色に点灯します。センサー探知部⑩を対象面に接触させたまま、手順表示（j）が表示されなくなるまで探知機を移動させてください。

対象物がセンサー探知部⑩に入ると、測定表示（h）が点灯し、表示灯①が赤色に点灯、シグナル音が鳴ります。（シグナル音は、シグナル音“入”になっている場合に鳴ります）

対象物がセンサー探知部⑩の中心に近づくほど測定表示（h）の指標は最大を示し、遠ざかるほど指標は減少します。

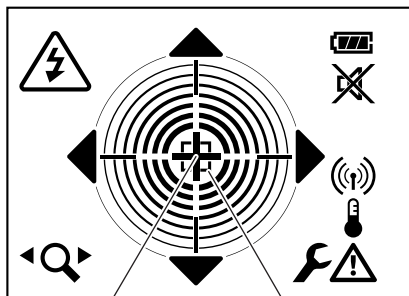
センサー探知部⑩を対象面に接触させたまま、表示されている中心調節矢印 ▲ ▼ ◀ ▶（k）の方向に、探知機を移動させます。

対象物の中心を探知すると、センタークロス（i）が表示されます。



i センタークロス

中心がぴったり合っていると、センタークロス（i）の周りに四角形が表示されます。




i センタークロス — 四角形が表示される

- ☞ 対象物が小さくて、深い位置にある場合、表示灯①は黄色に点灯したままになり、シグナル音も鳴りません。

センサー探知部⑩が対象物を探知していないとき、表示灯①は緑に点灯します。

- ☞ 壁、天井、床などに、穴あけ、切断などの作業を行う場合には、事前に設計図、工事中の写真など他の情報源で危険の有無を必ず確認してください。
周囲環境条件、対象面の施工状態により、ディスプレイ②に対象物が表示されなくても、何らかの危険物が存在する場合があります。

通電線表示

通電線が探知されると、ディスプレイ②に通電線表示 (a)  が表示されます。

本機が通電線に非常に近い位置にあるとき、表示灯①が赤色に点滅します。またシグナル音が“入”になっている場合は、シグナル音が短く繰り返し鳴ります。

- ☞ 通電線はいずれのモードでも探知できます。
- ☞ 通電線を探知するときは、電力を消費する機器（照明、装置など）のスイッチを入れると、探知しやすくなります。
- ☞ 水分の多い表面などの条件下では、電線の探知性能が低下することがあります。通電線の信号強度は、ケーブル線の位置に依存します。付近での探知作業をさらに実施するか、他の情報源を利用し、通電線の有無を確認してください。
- ☞ 静電気が生じていると、広い領域で探知表示されるなど、電線の探知性能が低下することがあります。その場合、空いている手を本機の横の対象面に当てると静電気が除去され、探知性能が向上します。

対象物のマーキング

探知された対象物を、必要に応じてマーキングします。

通常通りに探知作業を行い、対象物が探知されたら鉛筆など金属部のない筆記用具で、AとBの位置にマーキングします。

探知機を対象面から離し、Bのマーキング2個所を結んで平行線を引きます。

Aのマーキングから、Bの平行線に対して垂直に線を引きます。

クロスした個所が対象物の中心です。

 探知を何度か繰り返し、中心を決定してください。







4 電源を切る

「電源ボタン⑦」を押して、電源を“切”にします。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電源ボタン⑦」を押しても電源が“入”にならない	バッテリー⑥が消耗している（電子セル保護システムが作動した）	リチウムイオンバッテリー⑥を充電するか、交換する または、乾電池を交換する
ディスプレイ②に温度警告表示（e）  が表示されている	リチウムイオンバッテリー⑥の温度が最適温度範囲外になっている	リチウムイオンバッテリー⑥が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する
リチウムイオンバッテリー⑥を充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	リチウムイオンバッテリー⑥の寿命が尽きた	リチウムイオンバッテリー⑥を交換する
ディスプレイ②にメンテナンス表示（g）  と警告表示（f）  が表示されている	探知機内部が故障している	お買い求めの販売店またはボッシュサービスセンターまで連絡してください
ディスプレイ②に電波検出表示（d）  が表示されている	電波障害がある	WLAN、VMTS、飛行レーダー、電波塔やマイク口波などの干渉電磁波を取り除く

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

クリーニング

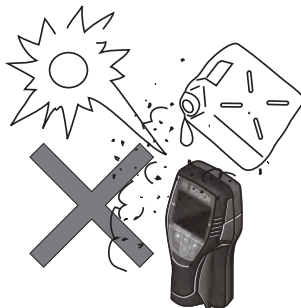
- センサー探知部⑩などに付いたゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る



☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保管

- 使った後は、バッテリー（リチウムイオンバッテリーまたは電池パック）を取り外し、付属のキャリングバッグに入れ、きちんと保管する
 - 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
 - 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは 50℃以上になるところに置かない。
 - 液漏れによる腐食から守るため、長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外しておく。
 - ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
 - ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。



保
手
入
れ
と
管